

## 2. 小学校の普通教室および幼稚園の保育室にエアコン設置を求めて

## 【答弁】

それでは、「2. 小学校の普通教室および幼稚園の保育室にエアコン設置を求めて」について、お答えいたします。

今年の夏は、災害に匹敵するといわれるような猛暑となり、連日のように気象庁から熱中症への注意喚起がなされるなど、国においても、学校で過ごす子どもたちの健康を守るために全国の学校にエアコンを設置する必要性を示されたところでは、

本市では、現在、計画的に進めております全中学校の普通教室へのエアコン設置については、今年度に完了いたしました。

一方、小学校におきましては、職員室や保健室などの管理諸室のほか、パソコン教室や図書室などの特別教室、必要に応じて支援教室にエアコンを設置し、今年度におきましては、全小学校の音楽室へのエアコン設置を進め、引き続き、普通教室への設置計画の検討を行ってきたところです。

小学校普通教室へのエアコン設置に関しては、学校生活を送る子どもたちのもとより、災害時に避難された高齢者や障がい者などの熱中症対策の一助にもなることから、必要性が高いものと認識しております。

また、幼稚園につきましては、現在のところ、職員室と遊戯室にエアコンの整備を完了している状況であります。記録的な猛暑が続く中では、保育室へのエアコン設置は必要と考えております。

小学校普通教室や幼稚園の保育室へエアコンを設置するには、概算ですが、小学校で約12億円、幼稚園で約2億円と事業費が大きくなりますことから、財源の確保が重要な課題であり、先日の本会議でも国へエアコン設置の財源措置を求める意見書について可決されておりますように、国における補助制度の活用が不可欠となります。

教育委員会としましては、次年度に、小学校普通教室へのエアコン設置にかかる設計業務の予算化、以後3か年での工事を計画しておりましたが、今夏の状況を受けて、国の補助制度の内容等が明らかになり次第、できるだけ早期に整備できるよう、事業費の予算化に取り組んでまいります。